



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月10日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 有仁
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長 (氏名) 多木 宏行 (TEL) 03-5822-6170
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,653	△1.9	110	△78.4	63	△84.5	24	△90.6
28年3月期第2四半期	8,817	5.7	512	65.8	411	5.9	256	△31.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年3月期第2四半期	3.05		—					
28年3月期第2四半期	32.34		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	28,166	6,793	24.1
28年3月期	28,232	6,806	24.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,793百万円 28年3月期 6,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	△2.3	350	△63.8	200	△71.0	120	△74.4	15.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成28年11月10日)公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期2Q	8,143,390株	28年3月期	8,143,390株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	205,967株	28年3月期	205,967株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期2Q	7,937,423株	28年3月期2Q	7,937,423株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般の概況)

当第2四半期の世界経済は、米国は緩やかな拡大基調が継続しており、欧州でも緩やかな回復傾向にあります。一方で新興国の経済は持ち直しの兆候が見られるものの、中国経済は引き続きの減速の傾向にあります。日本経済は、雇用や所得情勢は堅調に推移しているものの、急激な円高が企業業績に影響を与えたほか、個人消費の停滞などにより足踏み状態が続いています。

このような状況のもと、当社はお客様との関係強化に努め、積極的な販売拡大、新製品の開発、コスト削減に取り組み、当第2四半期累計期間の売上高は、8,653,323千円(前年同期比△164,174千円、△1.86%)、営業利益は110,955千円(前年同期比△401,762千円、△78.36%)、経常利益は63,710千円(前年同期比△347,579千円、△84.51%)、四半期純利益は24,180千円(前年同期比△232,534千円、△90.58%)となりました。

(セグメント別の概況)

【感光性材料事業】

半導体向け感光性材料は、スマートフォン、自動車、LEDなどのマーケットの拡大、ならびにフラッシュメモリーの3次元化による需要の拡大により販売が拡大しました。ディスプレイ製造向け感光性材料も、スマートフォン、高精細テレビ、車載LCDなどの需要拡大により、販売数量は堅調に推移しましたが、円高の影響を受けたことにより売上高は前年同期を下回りました。

この結果、同事業の売上高は4,519,310千円(前年同期比△70,442千円、△1.54%)、営業利益は167,840千円(前年同期比△306,193千円、△64.59%)となりました。

【化成品事業】

化成品部門は、海外向けの販売数量は好調に推移しましたが、円高の影響を受けたことにより売上高は前年同期を下回りました。

ロジスティック部門は、顧客満足度向上に努めた結果、タンク契約率、回転率共に高水準で推移しております。

この結果、同事業の売上高は4,134,013千円(前年同期比△93,732千円、△2.22%)、営業利益は△56,884千円(前年同期比△95,568千円、△247.05%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は28,166,447千円となり、前事業年度末比66,552千円の減少となりました。

流動資産は11,059,097千円で、前事業年度末比52,635千円の減少となりました。これは主に現金及び預金343,615千円の増加及び受取手形及び売掛金427,859千円の減少並びに商品及び製品221,670千円の減少によるものであります。

固定資産は17,107,350千円で、前事業年度末比13,916千円の減少となりました。これは主に取得による増加817,386千円、減価償却による減少786,548千円及び子会社株式の減少48,000千円によるものであります。

流動負債は12,701,756千円で、前事業年度末比301,853千円の増加となりました。これは主に短期借入金544,000千円の増加及び1年内返済予定の長期借入金293,762千円の減少によるものであります。

固定負債は8,670,734千円で、前事業年度末比356,348千円の減少となりました。これは主に長期借入金418,178千円の減少によるものであります。

純資産合計は6,793,956千円で、前事業年度末比12,057千円の減少となりました。これは主に配当金支払39,687千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表しました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成28年11月10日)公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)
を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,326,651	1,670,266
受取手形及び売掛金	3,016,973	2,589,113
商品及び製品	5,125,217	4,903,546
仕掛品	82,632	144,195
原材料及び貯蔵品	1,122,700	1,262,852
その他	440,642	491,887
貸倒引当金	△3,084	△2,763
流動資産合計	11,111,733	11,059,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,254,432	7,031,267
機械装置及び運搬具(純額)	3,337,001	3,037,316
土地	5,020,230	5,020,230
その他(純額)	651,836	1,173,192
有形固定資産合計	16,263,501	16,262,006
無形固定資産	335,216	367,548
投資その他の資産	522,549	477,794
固定資産合計	17,121,266	17,107,350
資産合計	28,232,999	28,166,447
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,100,356	2,058,327
短期借入金	4,750,000	5,294,000
1年内返済予定の長期借入金	3,782,790	3,489,028
未払法人税等	195,872	41,095
賞与引当金	324,428	280,399
その他の引当金	38,277	—
その他	1,208,179	1,538,906
流動負債合計	12,399,902	12,701,756
固定負債		
長期借入金	6,941,163	6,522,985
退職給付引当金	1,149,653	1,191,231
役員退職慰労引当金	332,404	338,007
その他	603,860	618,510
固定負債合計	9,027,082	8,670,734
負債合計	21,426,985	21,372,490

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	3,729,666	3,714,160
自己株式	△88,923	△88,923
株主資本合計	6,801,221	6,785,714
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,793	8,242
評価・換算差額等合計	4,793	8,242
純資産合計	6,806,014	6,793,956
負債純資産合計	28,232,999	28,166,447

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	8,817,498	8,653,323
売上原価	7,003,992	7,228,944
売上総利益	1,813,505	1,424,379
販売費及び一般管理費	1,300,787	1,313,423
営業利益	512,717	110,955
営業外収益		
受取利息	21	277
受取配当金	5,488	3,822
受取家賃	12,985	18,085
生命保険配当金	8,859	9,113
補助金収入	268	135,094
その他	11,373	21,536
営業外収益合計	38,996	187,931
営業外費用		
支払利息	117,426	94,472
為替差損	17,035	132,530
その他	5,962	8,172
営業外費用合計	140,424	235,176
経常利益	411,290	63,710
特別損失		
固定資産除却損	1,338	257
特別損失合計	1,338	257
税引前四半期純利益	409,951	63,453
法人税、住民税及び事業税	131,567	16,782
法人税等調整額	21,669	22,490
法人税等合計	153,236	39,273
四半期純利益	256,715	24,180

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	409,951	63,453
減価償却費	823,548	786,548
引当金の増減額(△は減少)	54,136	△35,446
受取利息及び受取配当金	△5,510	△4,100
支払利息	117,426	94,472
固定資産除却損	1,338	257
補助金収入	—	△135,094
売上債権の増減額(△は増加)	143,536	427,859
たな卸資産の増減額(△は増加)	△513,246	19,956
仕入債務の増減額(△は減少)	348,612	△42,029
未払又は未収消費税等の増減額	△8,646	40,728
その他	△36,644	25,796
小計	1,334,503	1,242,402
利息及び配当金の受取額	5,486	4,100
利息の支払額	△118,858	△94,856
保険金の受取額	—	32,117
補助金の受取額	268	1,332
法人税等の支払額	△51,548	△198,487
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,169,850	986,608
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
有形固定資産の取得による支出	△229,886	△395,738
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△7,880	△20,126
投資有価証券の取得による支出	△346	△357
子会社の清算による収入	—	52,993
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241,113	△366,228
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	544,000
長期借入れによる収入	1,300,000	1,250,000
長期借入金の返済による支出	△2,018,264	△1,961,940
リース債務の返済による支出	△32,684	△48,261
配当金の支払額	△94,594	△39,483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△845,542	△255,684
現金及び現金同等物に係る換算差額	△187	△24,080
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	83,006	340,615
現金及び現金同等物の期首残高	974,215	917,651
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,057,222	1,258,266

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,589,753	4,227,745	8,817,498	—	8,817,498
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	131,581	131,581	△131,581	—
計	4,589,753	4,359,326	8,949,079	△131,581	8,817,498
セグメント利益	474,033	38,684	512,717	—	512,717

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,519,310	4,134,013	8,653,323	—	8,653,323
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	112,192	112,192	△112,192	—
計	4,519,310	4,246,205	8,765,516	△112,192	8,653,323
セグメント利益又は損失(△)	167,840	△56,884	110,955	—	110,955

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。